

なるみ園自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 1月 10日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善内容又は改善目標・工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			基準を満たしています。活動に応じてグループ分けし個別・集団療育を行っています。
	2	職員の配置数は適切である	○			基準以上の職員を配置し、手厚い支援を行っています。
	3	生活空間は、本人に分かりやすい構造になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		障害特性に応じ、配慮しています。バリアフリー化が十分ではありませんが、安全対策を講じていきます。
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	○			清潔で心地よい環境に努めています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			毎日の終礼時に園児全員のケース討議を実施し、支援の情報共有に努めています。
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			毎年、児童発達支援ガイドラインに沿ったアンケートを実施しています。また、卒園児に対する園独自のアンケート調査も行い、広く意見を取り入れサービスの向上に努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			保護者アンケート調査の結果を踏まえて、業務改善に向けた見直しを行っています。また、保護者向け評価表及び自己評価表を保護者に配布し、ホームページにも公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	第三者による外部評価は、実施していません。今後、必要に応じて検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			計画的に外部研修に参加しています。また、園の課題・目標に基づいた内部研修を計画しスキルアップに努めています。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			定期的にモニタリングやアセスメントを行い、児童発達支援計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			標準化されたアセスメントツールを使用し、子どもの適応行動の状況を把握しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			児童の発達段階などを踏まえ、児童発達支援管理責任者が中心となり、職員間で協議しながら具体的な支援内容を設定しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			児童支援計画に沿った支援を行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			日々のお子様の状況を共有し、立案修正などを担当者会議を通して実施しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			一日の中で複数の活動を行えるようプログラムを組み、園児のその日の状況や発達特性を踏まえ、固定化しないように工夫しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			お子様の特性、発達評価を基に個別活動と集団活動を組み合わせた児童発達支援計画を作成しています。

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝礼時、職員間で情報共有や支援内容や役割分担について確認しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			終礼時、職員間で情報共有や支援内容や役割分担について確認しています。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日々の支援内容の記録をとり、検証・改善につなげています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的に保護者との面談を実施し、支援計画の内容について確認、見直し等を行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者が主となり会議に参画しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			市の保健センター、子育て総合支援センター、子育て支援課、障害福祉課や圏域の児童相談所等と情報共有や相談・報告を行い連携した支援を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係者と連携した支援を行っている				現在、医療的ケアが必要な児の在籍はありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えている				〃
	25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っている	○			併行通園を利用している児の保育所・幼稚園へ訪問したり、支援会議を開催するなどして、支援内容の情報共有を図り、移行に向けた支援に取り組んでいます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っている	○			就学前の事前説明会や個別の教育支援計画の作成により支援内容等の情報共有を図り、円滑な移行につなげられるよう取り組んでいます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			地域のスキルアップ研修や子育てに関わる会議を通して情報交換や助言を受け、連携を図っています。
	28	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。	○			園児の発達状況に応じて、併行通園の利用調整を図っています。
	29	(地域自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			業務に支障がない限り、積極的に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			毎日の送迎時、または、連絡帳などを利用して共通理解を図りながら支援をしています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)等の支援を行っている	○			定期的に保護者勉強会を開催し、行動の理解や対応の方法など助言を行っています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			利用契約時に、重要事項説明書に沿って説明を行い、玄関正面に掲示しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			ガイドラインに基づき計画を作成し、保護者の方から同意を得て実施しています。

	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			定期的に面談や相談を受ける体制を整えています。適切な助言や支援が出来るようスキルアップに努めています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			毎月1回、保護者親睦会を開催しています。また、毎年、保護者会で文集を制作されており、活発に運営されています。継続して保護者会をサポートしてまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			相談や申し入れがあった場合は、迅速かつ適切に対応しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、「園だより」「療育計画」を発行しています。また、定期的に活動内容やイベントのお知らせもしています。
	38	個人情報の取扱いに、充分注意している	○			個人情報保護規程を策定し、取扱いには充分配慮しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			子どもの特性を理解した上で、配慮を行っています。送迎時、連絡票などで日々、保護者と情報伝達を行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		法人全体での御祭を実施致しました。発達相談室を設け、地域の方からの発達相談をお受けしています。今後も更に地域交流に向けて検討します。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			各種マニュアルを策定して、職員や保護者に周知しています。また、発生を想定した訓練も実施しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			火災・水害・地震・津波・不審者等の非常災害に備え、定期的に訓練をしています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○			契約時のアセスメントシートや個別対応で健康状況を把握しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食物アレルギー調査票に記入頂き、個別対応の中でアレルギーの有無などの情報把握や必要に応じて、医師の指示を仰ぐなどの配慮をしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事故対応マニュアルを策定して、報告等がすみやかに行われるようにしています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止チェックリストを策定し、定期的に研修を実施しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に充分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			法人全体の方針として、身体拘束等は禁止しており、職員に周知徹底しています。

※ この「なるみ園自己評価結果(公表)」は、なるみ園職員全体で行った自己評価です。